

2026 年 7 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社 GRCS  
代 表 者 名 代表取締役社長 佐々木 慈和  
(コード番号：9250 東証グロース)  
問 合 せ 先 取 締 役 田中 郁恵  
(TEL. 03-6272-9191)

### 上場維持基準（純資産基準）への適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2026 年 2 月 26 日に「上場維持基準（純資産基準）への適合に向けた計画（改善期間入り）について」にて開示いたしましたとおり、2025 年 11 月期末時点において、東京証券取引所の定めるグロース市場の上場維持基準のうち「純資産基準」について不適合となっております。2026 年 11 月期末における上場維持基準への適合に向けた計画に基づき、下記のとおり 2026 年 11 月期第 2 四半期の進捗状況をご報告いたします。

#### 記

#### 1. 2026 年 11 月期第 2 四半期決算の状況

2026 年 11 月期第 2 四半期の売上高は 1,743,000 千円（前年同期比 8.8%増）、営業損失 48,428 千円（前年同期は営業損失 95,852 千円）、経常損失 60,749 千円（前年同期は経常損失 109,726 千円）、親会社株主に帰属する中間純損失 57,110 千円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失 84,412 千円）となりました。2026 年 11 月期第 2 四半期末時点において、純資産は 3,979 千円（前期末時点における純資産は△95,937 千円）となりました。

#### 2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの進捗状況

2026 年 4 月 14 日公表の「上場維持基準（純資産基準）への適合に向けた計画に基づく進捗状況について」に記載のとおり、新株予約権の行使及び第三者割当増資による資本増強を実施しました。加えて 2026 年 11 月期第 2 四半期においても新株予約権が一部行使されたこと、収益構造の改善に伴う利益の積み上げが寄与した結果、当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ 99,916 千円増加し 3,979 千円となり、債務超過は解消しております。しかしながら、期末に向けて財務基盤を安定化させるために、資本増強に向けた施策を引き続き検討してまいります。

なお、資本業務提携先である株式会社フィックスターズとの独自の AI モデル共同開発プロジェクトは順調に推移しています。引き続き、製品力の強化ならびに収益構造の改善を実行してまいります。

#### 3. 今後の方針

2026 年 2 月 26 日公表の「事業計画及び成長可能性に関する事項」に記載のとおり、今後の成長に向けた 4 つの成長戦略「専門的知見の蓄積」「AI 実装による標準化」「取引社数拡大」「ストック収益積上げ」を推進し、持続的な収益改善を図ってまいります。併せて、資本増強に向けた施策を引き続き検討し、2026 年 11 月 30 日までの上場維持基準への適合を目指してまいります。また今後におきましては、四半期毎に当該取り組みに関する報告を実施いたします。

以上